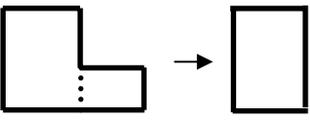
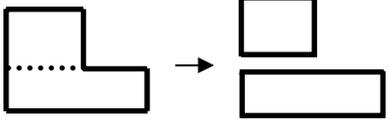


学校名	小平市立花小金井小学校	実施年月日	平成17年1月19日
指導者	竹内 智	授業コード	J-4
学年	4年生	教科	算数
単元名	面積のはかり方と表し方		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・面積の公式の有用性に気付き、身の回りにある長方形や正方形の面積を求めるのに進んで公式を用いようとする。(関心・意欲・態度) ・面積を比べるときに、既習の長さやかさの場合と同じように、単位の大きさを決めてその何個分として数値化して考える。(数学的思考方) ・長方形、正方形の面積を、公式を用いてもとめることができる。(表現・処理) ・長方形、正方形の面積を求める公式を理解する。(知識・理解) 		
単元の指導計画	第1次 第1～3時 広さの比べ方について方法を考える。面積の概念を理解する。 第2次 第1・2時 長方形・正方形の面積を求める公式について理解する。 第3時 複合図形の面積の求め方について理解する。(習熟度別学習) 第3次 第1・2時 面積の「㎡」について理解する。 第3・4時 ㎡とcm ² の関係について理解する。「km ² 」について理解する。km ² と㎡の関係について理解する。 第4次 第1・2時 課題選択学習(発展的な学習・補充的な学習)		
本時のねらい	【基礎コース】 複合図形の面積を求める際に、既習の公式が活用できるように工夫する。 複合図形の面積の求め方について理解する。		

本時の学習活動の展開

導入	【1】問題を提示する。 問題： 右の図形の面積の出し方を考えよう。 
展開	【2】課題を解決させる。 * わからない子にはデジタルコンテンツを用いて支援する。 【3】それぞれの解法を発表させる。 例) ①  →  ③  * デジタルコンテンツを用いてそれぞれの解決方法を提示する。 * それぞれの解法の工夫している点や共通点を確認していく。
まとめ	【5】複合図形の面積の求め方についてまとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">面積の公式が使える形に直せばいい。</div>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	「E-CAP仙台」の算数デジタルコンテンツを使用する。これは、複合図形の面積の求め方を画面上で操作し表示できるものである。 本時では、算数を比較的苦手としている児童に対して本コンテンツを使用することにより、『わかった』『できた』と言う満足感を得られるような授業を目指す。具体的には、自力解決の際に、ヒントカードと共にデジタルコンテンツを支援の道具として活用する。複合図形を長方形や正方形に分解する様子がわかりやすく子どもに伝わるものと思われる。また、まとめの段階で、それぞれの子どもの解法を振り返らせる際にも、理解を深めるのに有効に活用できるものと思われる。

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。